※令和４年度以降入学生用

学校番号	401

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道作品研究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てる。
・互いの作品を鑑賞することでその楽しさや鑑賞眼を養う。
・用具用材の違いによる表現の違いを学びつつ作品制作を行なう。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書作品の構成要素を学習し、自らの作品に活かす。自ら製作した作品を生活に書を取り入れることで書作品に対する理解を深めている。【知識】 ・書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身に付け表している。【技能】	・書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の価値を考えたりし、書の美を味わい深くとらえている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	一字書	半紙 1/2 に「私を表す一字」を創作。裏打ち、パネル張りまで行なう。お互いの作品の鑑賞会も行なう。「3年生自己紹介」として渡り廊下に展示	a:作品を作る楽しさ、様々な筆法、墨色等作品の構成要素について理解を深めている(知識)。蔵法、起筆の違い等の技能を身に付け表している(技能) b:線質、文字のデフォルメ、潤渇、遅速等の要素を組み合わせることで個性豊かに表現を工夫している。 c:主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。	提出作品	提出作品 鑑賞レポート	振り返りシート 鑑賞レポート
	「モザイク画」創作	はがきにステンドグラスのような模様を描き、顔彩で着色。それに好きな言葉を書き写真たてに入れ展示	a:　図柄の工夫がされている。 b:　線質の工夫がされている。彩色が美しい。 c:　主体的に取り組めている。	提出作品	提出作品 鑑賞レポート	振り返りシート 鑑賞レポート
二学期	コンクール作品制作	「大阪府高等学校書道コンクール」出品作品の制作、臨書作品(4 時間)	a:　基本的な書法が身についている b:　自分に合った法帖を選び、表現できている。 c:主体的に取り組めている。	提出作品	提出作品	振り返りシート
	「卒業作品」制作	・作品の種類、大きさ、材料などすべて自分で考え「集大成の作品」を制作、全13時間。 ・時間配分、次時間の予定、必要材料・等すべて自分で計画をたて、実行する。	a:　今まで学習した様々な表現方法を駆使している。 b:計画的に製作が進められている。 c:　創作意欲をもって、制作ノートに予定を立てられている。	提出作品	制作ノート 提出作品	制作ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

三学期	「卒業作品」展示・鑑賞会	裏打ち、パネル張りなど、作品によって展示できる形まで工夫する。 お互いの作品を鑑賞し、鑑賞レポートを作成する。	a:書の表現や形式、書表現の多様性について理解を深めている(知識)。作品を効果的に表現するための技能を身に付けている(技能)。 b:書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、色彩を使うことで表現に変化をもたらし味わい深くしたりしている。 c:主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。	提出作品	制作ノート 提出作品	制作ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度